



# 東北電友会会報

96号  
令和7年  
1月発行



シリーズ  
おらほの自慢

～ふるさとの  
隠れた魅力を再発見～

写真提供／電友会 宮城支部

## — 目次 —

### ごあいさつ

・NTT 東日本 執行役員 宮城事業部長	1	各地区電友会だより	8
・電友会東北 地方本部長	2	会員リレーコーナー	69
NTT グループ東北だより	3	会友コーナー 文芸・随想	74
震災・災害コーナー	5	お役立ちコーナー(新コーナー)	79
東北地方本部だより	6	NTT 東日本からのお知らせ	80
		編集後記	84



## ごあいさつ

東日本電信電話株式会社  
執行役員 宮城事業部長  
宮城事業部 宮城支店長  
(株)NTT東日本—東北 代表取締役社長



## 須藤 博史

新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。  
東北電友会の皆様には、日頃よりNTT東日本グループの事業に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげ様をもちまして、今年度NTT東日本は設立25年目の節目であると同時に新たな四半世紀を迎える年となりました。また、平成26年度の業務運営体制の見直しにより東北6県を統括する宮城事業部が発足してから、早いもので10年半が経過しました。これも偏に、皆様のお支えと、現役・関係パートナーの皆様との不断の努力の結果だと思っております。重ねて御礼を申し上げます。

今年3月には昭和30年に提供開始しておりました「177」の気象情報サービスが終了し、来年3月には「104」の番号案内、「タウンページ」の発行が終了いたします。これら固定電話利用者を中心にご利用いただいておりますサービスは、スマートフォン等の普及など情報確認手段の多様化や固定電話の利用減少によりサービスを終了するに至りました。現在の弊社主力サービスである光サービスを今後国内通信を支える柱として、皆様に安心してご利用いただけるよう努めると同時に、非通信分野を含めた新たなビジネスモデルの創出へのチャレンジを東北各支店、グループ会社、協力会社一体となって取り組んでおります。

最近の取組としては、仙台市と連携し、将来的な医療格差解消を目的に遠隔地でもオンラインで診療できる車「診療カー」の本格的な診療を開始しております。その他にも仙台市とは、市民の健康づくりを目的とした「仙台市PHR活用による健康づくりプロジェクト」に参画するなど緊密な連携を図っております。また、脱炭素社会の実現に向けては、仙台市、釜石市、紫波町の3自治体において共同提案者の一員として脱炭素先行地域の認定を受けました。その他、陸上養殖やドローンによるビジネスモデルなど、東北における様々な地域課題の解決に向けた取り組みを進めております。

今後、生成AIなどの普及を見据えるとネットワークの重要性は益々高まることが期待されます。社会基盤としてのネットワーク事業を進化させながら、地域の価値創造・課題解決事業を実現し、地域社会の皆様とともに、夢や希望を感じられる持続可能な循環型社会の共創を目指して参りますので、今後のNTT東日本グループの取り組みに、多くのご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、東北電友会の益々のご発展、皆様のご健康・ご多幸を祈念し、挨拶いたします。





東北地方本部長  
宮城支部長

高石 茂

### 蔵王百楽

退職後、山歩きを始め蔵王町の山岳会等に  
関わっているうち、蔵王国定公園の宮城県巡  
視員や登山ガイドなどをする事になり、年間  
山行は約70回、その内、蔵王山域だけでも四  
季を通して年間50回以上彷徨しています。

こうした活動を通して感じた宮城蔵王の魅  
力をご紹介します。

蔵王連峰は宮城県と山形県にまたがる南東  
北の脊梁山脈で、南北約25kmに亘っています。

この山域は、大きく「北蔵王」「中央蔵王」  
「南蔵王」の3つに分けられます。

北蔵王は笹谷峠から雁戸山、南雁戸山、名  
号峰を経て熊野岳の手前辺りまでを指します。  
雁戸山は岩をよじ登る個所もある峻険な山  
で、途中には蟻の戸渡と呼ばれる狭い尾根歩  
きなどもある高度感も楽しめる山のベテラン  
にも愛される山です。

中央蔵王は、熊野岳から馬の背、刈田岳を  
経て刈田峠辺りまでで、「火山蔵王」の荒々  
しさを見事に見せてくれています。

なお、蔵王山という山頂はなく、熊野岳か  
ら刈田岳に至るこの一帯を「蔵王山」と呼ん  
でいます。蔵王は、今も活動を続ける活火山  
で、シンボル「お釜」もこのエリアにあります。  
お釜は直近の噴火口で、その東側の五色岳に  
は数千回にわたる噴火の痕跡が地層となって  
重なっています。

一方で、火山礫の覆うこの一帯は高山植物  
の女王「コマクサ」の群生地で、7月から8  
月にかけて熊野岳一帯の山腹にピンクの花を  
咲かせます。そのほかオノエラン、イワカガ  
ミ等多くの高山植物が時期をずらしながら登  
山者を楽しませてくれます。

刈田岳は、かつては山岳信仰の修験の山で  
蔵王権現を祀ることからこの山が蔵王と呼ば  
れました。

刈田岳にはエコーライン脇の「大黒天」登  
山口からも登ることができ、7月頃には、こ  
の登山道に咲くヨツバヒヨドリを求めて「ア  
サギマダラ」が乱舞し、それを撮ろうと写真  
マニアが三脚を据えて待ち構えています。

刈田岳は冬も麓の澄川スキー場からリフト  
を乗り継ぎカンジキをはいて3時間程で登る  
ことができます。晴れた日には樹氷の向こう  
に太平洋まで望める雄大な展望を楽しむこと  
が出来ます。

南蔵王は刈田峠から屏風岳、南屏風岳、不  
忘山を経て、その麓の白石スキー場辺りまで  
を指します。この一帯は、中央蔵王とは打つ  
て変わって緑に覆われた、たおやかな峰が続  
き、春から晩秋までは縦走する登山者が行き  
交います。

杉が峰からの刈田岳の展望、芝草平の高層  
湿原に咲くチングルマやヒナザクラ等々の植  
物群、そして秋の草紅葉など四季折々の変  
化に時間を忘れてしまいます。

このルートの中央に位置する屏風岳（18  
25m）は宮城県の最高峰です。

南蔵王の南端の不忘山は「花の百名山」に  
数えられており、春から秋にかけてユキワリコ  
ザクラ、ハクサンイチゲ、ミヤマキンバイ等々  
ここでは書ききれない程の様々な高山植物が  
咲き誇ります。

山では晴れの日、雨の日、風の日、濃霧で  
10m先も見えない日など様々な気象に見舞わ  
れます。ただ、そこに咲く花や木はじつと時  
を待ち咲いています。また時折、雲の合間に  
遠くの景色を垣間見せてくれることもありま  
す。額に汗して歩きながら、そういう瞬間に  
出会った時は、心が和み歩いて良かったと本  
当に思います。

不思議なものですが、花は同じところにま

た咲きます。それを確かめるために訪れるのも楽しみの一つです。

紹介したいことは、「山ほど」ありますが、今回はこの辺で。

高名な山岳写真家が一つの山に登り続け「一山百楽」という言葉を残しています。

私は、その方の足元にも及びませんが、一つの山を何度も歩き、日々の変化に気づくことで楽しみが倍加するということは、少しだけ分かってきたような気がします。

達人の言葉を借りれば、まさに「蔵王百楽」の気持ちです。

これからも百の楽しみを探して体力、気力の続く限り蔵王を歩きたいと思っています。



## ◆NTTグループ東北だより

### ◎NTT東日本ふくしまの森プロジェクト

10月19日『NTT東日本ふくしまの森』プロジェクト』として、2017年に植樹した1750本のクロマツの苗木の生長管理活動として、下草刈り作業を今年も実施しました。当日は、気温も高く大変暑い中の作業となりましたが、総勢約50名が参加し、電友会からもの多くの方にご参加いただきました。大変ありがとうございました。

### ◎NTT緑の真珠海林再生プロジェクト

10月26日気仙沼大島の海岸再生林の生長管理活動を行いました。



大きく育てね



暑い中お疲れ様でした

東日本大震災の際、津波と山火事で甚大な被害があった気仙沼大島に「さくら」「なら」「くぬぎ」などの広葉樹を約1000本植樹し、毎年下草刈りなどの生長管理活動を行ってきました。今年はコロナ以降5年ぶりの集合開催となり、電友会からも約20名の方にご参加いただきました。急斜面の危険な場所での作業となりましたが、ご参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。



各地から沢山の方が集まりました



大きく伸びた竹との格闘中



◎OB・OG交流会の開催

東北各地域において、OB・OGの皆様をお招きし、「OB・OG交流会」が開催されました。宮城においては、今年から仙台会場での1会場開催となり、宮城県内各地域から多くの皆様にご参加いただきました。退職されてから久しぶりに再会し、例年になく思い出話が盛り上がった会となりました。



お開きは  
一本締めで！



須藤事業部長挨拶

◎スポーツクラブ後援会情報

日頃より、NTTグループ東北スポーツクラブ後援会の活動にご理解とご協力いただきありがとうございます。また、「東北マークス（ベースボール・バドミントン）」後援会へ多くの方からご賛同いただき改めて感謝申し上げます。

ベースボールクラブは、8月31日に群馬県太田市にて開催された「全日本クラブ野球選手権大会」において、宮城県代



三浦選手  
(宮城BI部)



三瓶選手 (福島BI部)

表として出場しました。健闘虚しく初戦で千葉県代表チームに敗れる、悔しい結果となりました。来年こそは、「日本一」の目標を達成するため、只野監督を中心に全力で頑張りたいと思います。

バドミントンチームは、11月14日から滋賀県大津市にて行われた「S/JリーグII」において、3勝4敗で5位という結果でした。落としたゲームはいずれも惜敗で、勝利まであと一歩届かない非常に悔しい結果でしたが、来年こそは「S/JリーグII」で優勝し、最高峰である「S/Jリーグ」復帰を目指し全力を尽くしてまいります。

引き続き、選手たちへの温かいご支援、熱いご声援をお願いいたします。



鈴木 (右)・高橋 (左) ペア



日光 (右)・葦澤 (左) ペア

— 忘れない。忘れてはいけない —

# 震災・災害コーナー



◎災害に対して…どうしたら…

電友あさか会 水野 榮

人の力では発生を止めることが出来ない自然災害、前号まで何度か防災についての考え方を書いて来ましたが、今回は具体的な対応を考えてみたいと思います。

「自分の生命は自分で守る」「大切な人の生命も守る」これを実現するのは、普段からの備えです。これには①防災活動と②減災活動があります。

## ①防災活動（予防と被害抑止）

家具類の転倒防止、ガラス飛散防止、耐震補強工事、避難経路確認（土砂くずれ・水没しないか、危険箇所はないか）これは自宅から避難所まで、ハザードマップ等を参考にし、地形・地域性をふまえて実際に確認して下さい

い。

また、備蓄物品の確認も大切です。災害が発生したら「応急対応」非常用品・貴重品の持ち出し、ケガの手当て、家族の安否確認等を行うこととなります。

## ②減災活動（災害後に困らないための備え）

災害関連死を防ぐこと（持病があり、健康に不安がある場合、薬は切らさない）

この記事を見るのは、電電公社・NTTを退職された年配の方々です。皆さんそれぞれ異なる場所・環境で生活していても災害が発生すれば被害を受けます。

災害が発生すればスーパーに食べ物が無くなり、必要な機器材、ガソリン等が手に入りません。

災害にあっても生きるためには食べ物が必要。どの家庭にも約2〜3日分のストックがあると思います。食べたら追加補充しておく。これをくり返すことを習慣にすれば、

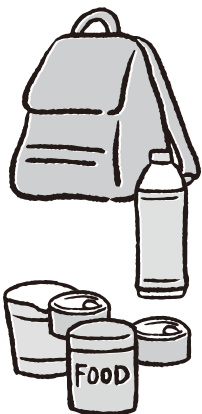
特別に非常食を備えておかなくても良いと思えます。

災害はいつ発生するか分かりません。自分に必要と思われる備えをしたら、あとは日々楽しく明るく元気にお過ごし下さい。

防災士 須賀川市 水野 榮



一次救命措置の研修風景  
胸骨圧迫とAEDの体験





# 東北地方本部だより

東北地方本部事務局

## ◎支部長・事務局長会議

令和6年7月18日、NTT五橋第二ビルにおいて開催しました。まず高石本部長挨拶の後、本部理事会・評議員会模様についての報告があり、続いてボランティア活動賞の推薦について基本的に了承されました。東北電友会会報96号の発行、ボランティア活動物品支援、NTTグループ東北スポーツクラブ後援会加入について情報共有を図るとともに、データベースのセキュリティ確保については今後詳細を検討していくこととしました。また、アクティブシニア支援機構（ASO）からの協力依頼について内容を説明しました。

## ◎文化活動協賛金運営委員会

令和6年9月2日、東北地方本部事務局にて開催し、令和5年度文化活動報告、令和6年度文化活動計画について説明し、了承されました。また会議終了後、事務局から東北電

友会会報への「年賀広告」掲載について依頼しました。

## ◎相馬市松川浦海岸防災林再生活動

令和6年10月19日、NTT東日本ー東北企画総務部主催の「ふくしまの森 海岸防災林再生プロジェクト」に福島地区電友会山田会長始め4名、電電相馬クラブ草野会長始め4名の計8名が参加しました。

10月とは

思えない真夏日の中で、現役の皆さんと共に奮闘しました。



電友会福島地区のメンバー

## ◎気仙沼大島震災復興支援活動

令和6年10月26日、5年振りにNTT（持株）CSR推進室（株）NTTファシリテーズエンジニアリング主催の「緑の真珠海岸林再生プロジェクト」植樹後の成長管理活動が行われ、高石本部長始め宮城支部12名（五ッ橋5名、石巻3名、気仙沼4名）、岩手支部（一関7名）の計19名が参加しました。下草刈りの他、樹木の生長に支障となる竹の刈り払いを行い、現役の皆さんと共に心地よい汗をかきました。



電友会宮城支部、岩手支部のメンバー



大きくなった竹との格闘

◎第34回電友会ボランティア活動賞の受賞

令和6年11月13日、本部主催の表彰式が「KRホテル東京」において行われ、高部会長から受賞者の皆様へ表彰状が授与されました。



東北受賞者

東北の受賞者は次の方々です。  
○電友会「ふくしま虹の会」

小笠原 生雄さん（福島支部）

「視覚障害者へ図書を届ける支援活動」

視聴覚障害者のニーズに応じた各種支援事業を行っている「NPOにじの会」から、その会員であった電友会会員に、市販の書籍をデジタル化してPCで読める（聴ける）よう

に加工したデイジー図書（デジタル図書の国際標準規格）作成支援の要請があり、平成25年に電友会「ITサークル」の有志がその活動を始め、のちに「ふくしま虹の会」として登録。メンバー

は使いづらいソフトウェアや慣れない作業にも関わらず、ほぼ毎日2時間図書の作成に取組み、その後、視覚障害者からのリクエストがあつた難しい「鍼灸資格検定」教材も1年をかけて完成させました。これまでデイジー図書は11年間で176冊となり、アクセス件数も12499回に及ぶなど視覚障害者への社会福祉活動に取り組んでいます。



電友会「ふくしま虹の会」代表 小笠原生雄さん（福島支部）

○佐藤 勇吉さん（岩手支部）

「公園の環境整備（皆が集い散策が楽しめる憩いの公園造り）」

平成25年に自宅のある一関市滝沢水口民区の環境衛生部長に就任し、道路整備や家庭ごみの処理に加えて、地区内にある公園（一関市保有）の管理や整備を担当することになりました。「公園整備計画（4年計画）」を策定

し一関市都市計画課の理解・協力を得て、初めに歩きやすい散策道路と花壇づくりに着手し、次に桜やツツジの剪定作業、花壇の増設、竹垣の設置、樹木への肥料入れ、ベンチの塗装などを区民とともに進め計画通り2年で完了しました。

その後の2年は散策道にスイセンや彼岸花等を植え付け「皆が集い散策が楽しめる憩いの公園」を完成させただけでなく、現在まで公園内の



佐藤勇吉さん（岩手支部）

清掃作業、草刈り作業、剪定作業を定期的に行っているなど地域の環境保護・美化に取り組んでいます。

◎物故会員の叙位・叙勲

次の方々は、生前のご功績により、それぞれのご逝去の日をもって叙位・叙勲の荣誉に浴されました。

（叙位・叙勲）（支部名）（ご氏名）

瑞宝单光章 宮城 北見 經次 様  
瑞宝单光章 宮城 寺崎 千治 様

（令和6年7月～令和6年11月）